



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 エステー株式会社
 コード番号 4951 URL <http://www.st-c.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 鈴木 貴子
 (氏名) 吉澤 浩一
 TEL 03-3367-6314

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,481	7.2	739	55.7	759	44.3	464	45.7
29年3月期第1四半期	9,781	8.2	474		526		318	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,048百万円 (302.7%) 29年3月期第1四半期 260百万円 (60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	21.19	21.02
29年3月期第1四半期	14.69	14.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	38,547	26,663	67.3	1,182.61
29年3月期	38,458	25,812	65.3	1,148.41

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 25,951百万円 29年3月期 25,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		12.00		12.00	24.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		13.00		13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,600	7.8	2,300	5.4	2,300	5.9	1,550	5.5	70.69
通期	49,700	8.1	3,500	22.6	3,300	13.7	2,250	23.8	102.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	23,000,000 株	29年3月期	23,000,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,055,479 株	29年3月期	1,123,029 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	21,910,544 株	29年3月期1Q	21,699,310 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資が堅調に推移し、雇用情勢の改善も持続するなど、景気は緩やかに回復しました。個人消費につきましても、雇用者所得の回復や株価上昇を受けて消費者マインドが改善し、緩やかに回復しました。しかしながらエネルギー価格の上昇や円安による日用品価格の値上がりを実質購買力の下押し圧力となり、個人消費の力強い伸長が見込みにくい状況にあります。また、緩やかな回復傾向にある海外経済も、政治情勢や地政学的リスクの顕在化によって大きく影響を受ける懸念があり、依然として不透明な状態が続いております。

こうした状況の中、当社グループは、絞り込みと集中、世にない商品の開発、スピード経営を継承しながら、「ブランド価値経営」を基本方針として掲げ、持続的成長のために、「高収益体制の構築」を戦略の柱として市場拡大（エアケア事業の市場拡大）、シェア拡大（既存事業の市場活性化）、利益志向（利益構造の改革）に取り組んでまいりました。また、「新たな成長への種まき」として、介護用品の新ブランド「エールズ」による介護用品市場への進出、香りの持つ生理作用に着目した新ブランド「アロマサブリ」による新市場の開拓、グローバル対応強化（タイをハブとするASEAN地域への注力）を進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は104億81百万円（前年同期比7.2%増）となりました。利益面では、主力品と高付加価値商品の販売強化により売上総利益が増加した他、継続して取り組んでおります返品や製造コストの削減効果が現れたことなどにより営業利益7億39百万円（同55.7%増）、経常利益7億59百万円（同44.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億64百万円（同45.7%増）となりました。

当社グループの事業セグメントは、「生活日用品事業」の単一セグメントとしておりますが、カテゴリー別の業績は以下のとおりであります。

エアケア（消臭芳香剤）は、贅沢なフレグランスの香りが空間に広がる「玄関・リビング用 消臭力 Premium Aroma」シリーズの売上が大きく伸長した他、トリプルイオン効果による化学的消臭で嫌なニオイをしっかりと消臭する「消臭カククリアビーズ イオン消臭プラス」等の新製品の売上が寄与し、売上高は52億67百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

衣類ケア（防虫剤）は、今年3月の気温が低めに推移した影響で伸び悩んだ売上が4月以降に回復した影響もあって「ムシューダ」等の売上が伸長し、売上高は21億15百万円（同13.6%増）となりました。

サーモケア（カイロ）は、シーズン終了後の返品が多い期間となりますが、継続してあります返品削減の取組が奏功し、売上高は増加しました。

ハンドケア（手袋）は、オイルやグリス等に強い耐性があるニトリル合成ゴム製手袋「メカニックグローブ」等の業務用手袋の売上が好調に推移し、売上高は13億22百万円（同11.8%増）となりました。

湿気ケア（除湿剤）は、シートタイプの「ドライペット 引き出し・衣装ケース用」等の売上は販売強化により伸長したものの、タンクタイプの「ドライペット スキット」の売上が減少したこと等により、売上高は9億2百万円（同4.2%減）となりました。

ホームケア（その他）は、靴の奥の汚れまで泡が届きやすいスプレータイプの靴用洗剤「おひさまの洗たく くっクリーナー」や洗車用品の売上が堅調に推移した他、海外におけるクリーナーの売上が伸長したこと等により、売上高は10億34百万円（同4.9%増）となりました。

カテゴリー	売上高	前年同期比
エアケア（消臭芳香剤）	5,267百万円	4.6%増
衣類ケア（防虫剤）	2,115百万円	13.6%増
サーモケア（カイロ）※	△161百万円	—
ハンドケア（手袋）	1,322百万円	11.8%増
湿気ケア（除湿剤）	902百万円	4.2%減
ホームケア（その他）	1,034百万円	4.9%増

※サーモケア（カイロ）の前年同期売上高は、△229百万円。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して89百万円増加し、385億47百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少5億58百万円、受取手形及び売掛金の減少5億70百万円、商品及び製品の増加5億85百万円、投資有価証券の増加7億21百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して7億60百万円減少し、118億84百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加8億76百万円、電子記録債務の減少3億2百万円、未払金の減少4億56百万円、未払費用の減少3億56百万円、未払法人税等の減少5億54百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して8億50百万円増加し、266億63百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1億85百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億22百万円等であります。

以上の結果、自己資本は259億51百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.0ポイント増加し、67.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月1日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,438,820	10,880,261
受取手形及び売掛金	5,220,476	4,650,449
商品及び製品	3,939,709	4,525,128
仕掛品	266,133	202,556
原材料及び貯蔵品	866,762	896,071
繰延税金資産	413,774	272,797
その他	324,859	593,227
貸倒引当金	△3,950	△4,422
流動資産合計	22,466,586	22,016,069
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,144,828	3,110,664
機械装置及び運搬具（純額）	1,063,667	1,049,771
工具、器具及び備品（純額）	143,552	135,557
土地	3,095,974	3,099,085
リース資産（純額）	553,110	514,083
建設仮勘定	-	3,106
有形固定資産合計	8,001,133	7,912,267
無形固定資産	333,867	321,713
投資その他の資産		
投資有価証券	6,514,815	7,236,468
長期貸付金	14,611	13,666
退職給付に係る資産	102,912	32,486
繰延税金資産	10,824	11,094
その他	1,013,403	1,004,162
投資その他の資産合計	7,656,567	8,297,877
固定資産合計	15,991,567	16,531,858
資産合計	38,458,154	38,547,927

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,572	3,035,524
電子記録債務	2,937,102	2,634,620
リース債務	162,774	160,938
未払金	2,405,218	1,949,199
未払費用	754,050	397,779
未払法人税等	679,687	125,654
未払消費税等	378,977	106,630
返品調整引当金	108,200	57,100
営業外電子記録債務	19,943	75,158
その他	61,644	224,920
流動負債合計	9,666,172	8,767,525
固定負債		
リース債務	434,612	394,641
繰延税金負債	718,476	972,438
再評価に係る繰延税金負債	262,175	262,175
役員退職慰労引当金	127,341	123,966
役員株式給付引当金	40,178	46,539
退職給付に係る負債	1,201,015	1,213,456
その他	195,891	104,175
固定負債合計	2,979,692	3,117,394
負債合計	12,645,864	11,884,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	11,015,855	11,200,859
自己株式	△1,487,116	△1,394,041
株主資本合計	23,662,053	23,940,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,378,520	2,900,642
土地再評価差額金	△537,202	△537,202
為替換算調整勘定	△354,368	△331,535
退職給付に係る調整累計額	△25,219	△20,120
その他の包括利益累計額合計	1,461,729	2,011,784
新株予約権	46,185	36,240
非支配株主持分	642,321	674,850
純資産合計	25,812,289	26,663,007
負債純資産合計	38,458,154	38,547,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	9,781,740	10,481,832
売上原価	5,656,029	5,909,468
売上総利益	4,125,710	4,572,364
返品調整引当金戻入差額	48,200	51,100
差引売上総利益	4,173,910	4,623,464
販売費及び一般管理費	3,699,338	3,884,389
営業利益	474,572	739,074
営業外収益		
受取利息	1,699	1,757
受取配当金	61,920	65,807
仕入割引	39,416	35,508
持分法による投資利益	23,397	2,402
その他	79,356	46,339
営業外収益合計	205,790	151,815
営業外費用		
支払利息	122	62
売上割引	147,337	114,481
その他	6,677	16,949
営業外費用合計	154,137	131,493
経常利益	526,225	759,396
特別利益		
固定資産売却益	837	251
特別利益合計	837	251
特別損失		
固定資産除売却損	3,974	3,670
投資有価証券評価損	-	30,900
特別損失合計	3,974	34,570
税金等調整前四半期純利益	523,088	725,077
法人税、住民税及び事業税	57,549	77,798
法人税等調整額	106,616	162,493
法人税等合計	164,165	240,292
四半期純利益	358,922	484,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,232	20,579
親会社株主に帰属する四半期純利益	318,690	464,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	358,922	484,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,720	521,694
為替換算調整勘定	△89,254	37,540
退職給付に係る調整額	5,944	5,099
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,543	△689
その他の包括利益合計	△98,573	563,643
四半期包括利益	260,348	1,048,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,874	1,014,261
非支配株主に係る四半期包括利益	8,474	34,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき重要な事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

当社グループは、「生活日用品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。